《優秀賞》

未来に繋ぐ物

大阪府立水都国際中学校 2年

大阪

府

際中学校 2年 横畠 雅音

どの水質を悪化させ、環境やそこに住まう動植物を破壊し、傷つけていどの水質を悪化させ、環境やそこに住まう動植物を破壊し、傷つけていかと、近年では人々が出すゴミや工場から排出される汚染水が川や海ななど幅広い分野で使用されており、私たちの暮らしを支えています。し洗濯、風呂、水洗トイレなどに使用されるほか、農業、工業、水力発電いく上でかけがえのないものです。身近な生活の中でも、飲み水や炊事、私たちの体の七割、血液の八割は水で構成されています。水は生きて

豊かさを守ろう」という課題をかかげたチームに所属しています。特に や水質改善に興味を持っていただく為の活動をしています。私のチーム 作りなどの体験を通じて、校内だけではなく、外部の方々にも海洋汚染 許可を得た上で設置したりしました。また、アカデミックフェアーのワ 海洋汚染防止について取り組んでおり、授業では海岸付近でゴミ拾いの そった活動を行う授業があります。複数あるチームの中で、私は と思い関心が湧きました。中学校では「SA」というSDGsの課題に 私は自分達のできる限りのことをして海洋汚染を少しでも防止できたら 生態系に対し、どれ程悪影響なのかを物語っていました。その姿を見て 海は人々が捨てた生活用品など大量のゴミが浮いていて、水質や環境、 は「SDGsQuestみらい甲子園」のファイナリストに選ばれまし ークショップでは、プラスチックゴミなど廃材を利用したアクセサリー 活動をしたり、自分たちでデザインしたポイ捨て防止の看板を市役所に 私は海の近くの中学校に通っているので、海洋汚染を身近に感じます。 テレビ番組の取材を受けることで活動の宣伝が出来ました。 「海の

するための調査機や浄水機器などを主に開発しています。門的に開発することです。この職業は水質・土壌の汚染具合をチェックに興味を持ちました。私の将来の夢は環境保護に役立つ機器や技術を専私は学校で体験できた事を通して、「環境保全エンジニア」という職業

ますが、その分、環境に対してとても悪影響になっています。のようにプラスチック製品は耐久性があり、多くの人々に使用されていることで、マイクロプラスチックが生じて海に流されてしまいます。ことで小さく微細化したマイクロプラスチックなどの回収は今では困難とどで小さく微細化したマイクロプラスチックなどの回収は今では困難ととでいます。する、ゴミの大部分は深海に沈んでしまい、紫外線なで壊されつつあります。ゴミの大部分は深海に沈んでしまい、紫外線なこの作文の初めに書いた通り、人々が出したゴミによって自然環境が

このまま、便利な化学製品に頼り続けるのではなく、一人一人がこのこのまま、便利な化学製品に頼り続けるのではなく、一人一人がこのつきます。

用やゴミ拾いなど、やれる事から始めたいと思います。その為の小さな一歩は、今この瞬間の行動の積み重ねです。資源の再利供や孫の世代では、綺麗な川や海を見られる日がくるかもしれません。で川の水を浄化しています。この様な活動を各地で続ければ、私達の子質を改善できた例もあります。日本でも長崎県・大村湾などでカキの殻ニューヨーク湾浄水プロジェクトでは、カキの殻で汚染された海の水